

廣 告

五號落字十九元
三號落字十元
三日以上金拾三
五日以上金十五
特別同金貳拾

發行所 萬生隆
代理人 段學東

中國發山海大雁町
十七番町

幾百千挺の銃口一時に決死隊の頭

上の防衛ある漢城堡の優越を擊攘すべく引き

此時大野少尉は決死の覚悟を以て先發の

道具立チヤンと出来揚つて今にも開戦の極に達

したる其敗軍の將たるクロバトヤシ、のたは玉絹

逢はや次第に依れば敵打の助太
お竹さの

おつれなすつたらよふてはい

英國、コリーナ、ドイル、
日本、梅村、羅士、譯

波戸「矢張り、剣を剣た

波戸「それはどうだ。」

世良田は波戸乃賭博好きなのを利用して
賭博の熱度^{ねつど}に上^{のぼ}らせてゐる、彼は是^{こゝ}で負け

ならば自分の驍騎兵を彼の驍騎兵の上に
へる計りだと思つた。

官は斯くの如き場合に相當した巧妙な遣
をしたが、舊も世良田一様の方が尚其とで

つた、五點と勝てば好い處に世良田は第
 二の手で己に三點と勝つてゐる。彼戸は其
 の手と丁印いて、而して己が世

田の勝利となる可きは既に世良田の胸中
は明白となつてゐる

第二の手で世良田はキングをめぐつた、しながら此時二點負けとなつたので世良田の四點と彼戸の二點と争ふ事になつた、

夫から其次の手を見た時に世良田は歎び
聲を擧ぐるのを抑へ得なかつた、自分は

手では勝つ事が出来ないならば、一生は魔物となつてゐるのが當然だと心の中で叫んだのである。

其時世良田の手に持つてゐたればシラブ
 一點と兵隊でダイヤモッドの女皇と兵隊

夫からハルトの王でゐつた。而してクワ
が切り札であるから世良田は最早自由と
一言になつてゐるのだ。

浅戸も亦是が勝負の分れ目である。信じ

渡戸はベスードの十點を打つて來たから、良田は切り札の一點で以て探つて了つた。

是は世良田の爲に大出来であつた、そ
から敵の切りれを^上驅り^上上げる必要があるの

女皇を以て之を採つて妻つたが亦もや
負に同点ゝゐつた、渡戸はスベードの八

を打つて来た之には世良田はダイヤモ
の女皇を捨てる外に手がなかつた。次に
はスベットの七點を打つて来た、此時世

田は髪かみの毛けが逆立さかだちつ様ように覺おぼへたのであら
其次つぎに一人ひとり王わうと抛なり出でたが世良田せらたの

の方が好つたので遂に腰を占める事が出
 た此時の世良田は地上に轉がつて喜び過
 ぎてあつた。

つた第一等の手であつたのだ此世良

一雄かと對ふのを然し得なかつたのであ
 此次の勝負が第四回であつた三人の運命を
 決定せしむるものである波戸は帶手を脱
 世良田は劍を取り外づした
 然るに此英國士官はなかく沈着してゐる
 世良田も亦冷やかにしてやうと思つた
 面し汗と顔とも眼の中に流れ落ちる、札
 ひは今度も波戸ノ役であつて之を拾ひ上つて
 する世良田の手は自ら深ふのを然し得ない
 爾しながら之を握へて見た時に第一に世

王の寵に受つたものは何であるか。それ
は、**世良田は竟へ主**、**即ち世良田の王であつた**
世良田は竟へ主を口にしんぞとしたが
の容貌の變つたのを見て其口は水も用い
かと思はれる程変化した。
波戸は其口と手に取り上げてはゐるが其
は垂れ下つて其眼は恐怖と驚愕とに充ち
る恐ろしい様子をして世良田の肩越しに
物と眺めてゐる世良田は何事なく後を
つて見たが彼も亦との認めた物も就いて
つて見るを得なかつた。

●當世女房氣質

エヘン當世の女房といふ事は中々喰へぬのでせう、いふすれば亭主を罵倒にして困る昔から亭主驕白の位といふことがあつても中々以て今の世の中はさうでない亭主だ、なほ、パンとパンとどねへるさ、く、く、く、とすると女房は白炭をひくつてコッ亭主の尻をさへ喰へて歸つてさう位ならまだしも時にとすると亭主の留守に家財道具を盗み持つて歸つてしまふ位女房の權利が盛なつたのだ、だから亭主たる者はよろしファン、ををしめなければならぬといふのは、無敵無敵の裏手に住める長崎の何の吉太郎の女房にしげといふは二三、の子までもに値かばかりの喧嘩からならぬ女房王な、目に物見せてやらぬとぞ見よ、かきに森夫、推らへて去る、亭主の留守、中目星、道具を頼り出でて何処でもなしに家出してしまつて其路へ亭主が待つて見るとこの始末なので小供にお母さんしたと聞くと、お父さん、留守に其のへた人が来てお多福の豆汁カキを買つて来た母さん、何處かへ行つたり歸つてやないとの事に亭主、ドエ、事になつたか、わいと口惜し涙を、落して飯も食はず、閉口、頓首して居るさうだ、さて、真箇の境もあれな、の、か、

●劇樂自殺未遂騒聞

昨夜、佐々木、源、忠、内、に、劇樂自殺未遂、者のありたるは、昨、紙、記、載、せし、處、なる、が、今、

ハの詳細を聞きたるを以て記せんに
△竹田染糸師は 元无思棟舎主西町三丁
目黒屋敷早田淺洪方に同族人の好みを以
て番屋に雇われ居りたるが朝 薩摩者金井
メソ内縁の夫日高清重(備前)に應じたる
後は女のついで松澤の整理出来ず今の儘にて
は當低賃を維持の覺束なきにて昨年十二月
末早田に相談せしより早田は多少の資本金
と申し高崎信竹中染糸師を監理兼場所とし
て開設せり

んでハレバ云ふ内顔色變じたりて倒
れたるより同家のものは驚き返りて醫寮へ
届け付たるより當署よりは頼山陽書外登名現
場へ出張し有光醫師立台のト臨検しメたるか
當時は危うしも生命に別條なき山なる
兄・英四郎宛の書簡通及早田淺洪に宛
てたる評世の歌としきものを懷にナし居り
たるか早田宛の書簡文は左の如し
死したとていかでこの今を去すべきか
すぐきまはさのありし日まで

○此の如き情を以て、櫻太郎は本年一月十二日同家に於て養老を始
めたるが當時より染火郎は臥床を遂て四り
たるが天かなるな政治は十七日じり病にて
休業する事となりたるが染火郎は徹て心の
ありたるものより親子も只ならぬ看護に勤
め候間の金を融通しては弟子煙草等を造
款心を貰ひつゝありしが政吉もノツピヤナ
るる場合どナも遂に同月廿日より情を通つ
ると云ふ事なり

△解雇される 斯くて政吉との間は切つて
切れた関係となり養老を棄しては染火郎

○今日は身ふる我々ナるとは 染火郎が自殺を計りたる原因は前記煙草の
金九圓金を費消ししを同家より洗抹呼は
いりせられたるを無念と思ひてなりとい
へるが全く放蕩の結果身の置き場々つまで
て世を果敢なむるものならん

○哀れなる軍人家族(香港) 日露の國変
破襲してよゝ召ら應じて出征する軍人の家
族中、悲惨の遭遇に罹りけるもの數多ある
中に常陸小町居住の真繁者、其妻子二人の
嫁狀は最も哀れなるものにてわだかましく

と密通し他の藝妓其の苦情の様子となり従
て帳簿に穴を生ずる様ナリたるより早
田も楚々書き難してて帳簿等調査したる
に丸間余の不足額を生じ居たがよみミツ
と同腹にて費消せざらぬものと推知し短くは
商家の義め悪からんとて大郎を費消額の
九圓は借用證を受取りたる上二目四日解雇
せ

△離別来る 同月九日染次郎は京城に
出發し金儲けしたる後、鑑再び面會せん
と別れけるが京城より二度政吉には無事
を報知せり

△京城より歸る 同月廿三日頃政吉宛へ
京城より歸りたる事を報知し本月十五日午
後八時回家へ参りたるも政吉は外の害の席
に出で居りたるより藝妓市街と呼び三圖六
十五段余の散財を爲したり

△自殺の意を凝す 同役政吉は席をばづ
して染次郎に逢ひたるが涙を流して身の上
話をし劇業を飲んで自殺とせんと言は
れたるか政吉及ミマにこん／＼説教されたる
を以て断念したる模様なりしも政吉は如何
なる事を志すやと問ふればと思ひ病氣
ど偶りい處を去りたるか染次郎翌朝八時
頃一應歸りたり

△再び高家へ来る 同月二十三日午前九
時頃駐在する儘同家に來つゝあるより政
吉の赤綿表裏地一匹を與へ之と仕立て若
うとて遣ししが自分はひん／＼洵は不用ナリ
受取らざるなり

△劇場を飲んで回家へ来る 同日午後八
時頃本町一丁目別荘等より碗盤一磁を買
求め之か過半を服用して同家へ來りたるを
以て同家の帳簿は換算せられたるなり

ひな祭

雛先を作りて皇子を想ふ給ひ又秀吉太
征將軍中に秀頼を生せしかば雛形其足類形
多く對強せたりとの故實あれば出征
にても本年は特に雛形を不出征者の名譽
に當るを祈りたまへ

雛祭て家室の團樂親和上
に恰當の儀式なるが時局
とも相あつるものとして即
ち成功後征將軍の凱旋に
子皇孫廣まり御喜びの令

臺灣直輸入夏はうし
一手販賣
價格低廉
品質精良
流行新形
堅固耐久
經濟親美
澎湖豐丁
多山港北

廣 告
果實諸苗木 諸花 諸盆
裁之苗販賣任擇願多少不拘因買求被下
度候此段廣告仕様也
發售所 臺南府公署爲風雷地

橫張商店

植木商 神高綾吉
 啓者社へ今同國經將ノ發展ニ伴ヒ廣ク印刷製
 書門ノ業務ヲ一貫シテ各公衆ノ便宜ヲ計
 其印刷ノ業務ヲ一貫シテ各公衆ノ便宜ヲ計
 布クハ四方ノ諸君社ヲ親戚ヲ克セント欲
 ハシモ、種々關注文ヲラシム事ヲ茲ニ謹テ
 告仕置候也
 釜山入江町十番地
 日韓印刷昌文社
 創立事務所
 來る四月三日神武天
 皇祭日を期し釜山港
 龜頭山上に於て第一
 回島根縣人大懇親會
 相催し度候間同縣の
 各位は奮て賛同あ
 らん事を祈る
 通會社名簿並に準備の都合有之候
 付御覽の各位は三月三日迄有之候
 諸君に現在所々新し各縣に會費金五十錢
 相添へ参出所、同縣出賃員内速嘉久治へ
 御申込る候度候也
 三月廿三日 發起人
 朝鮮日報一手販賣
 及ビ廣告取次所
 京城內 商聲社營業部
 ●就職と望む
 韓語高等通譯
 但シ學校教員者ノハ其待遇ハ應
 ハレタレ
 右重要ノ力ハ一週間内ニ來談アリ
 (姓名ハ附シ在リ)

<p>御旅館並ニ御料理</p> <p>附寫牛乳車販賣所並燒酎 日本屋建築八棟園八四季ノ花網ヘホ</p> <p>大原車站外 停車場前</p> <p>達城館</p>	<p>營業品目</p> <p>文 具 煙 草 吳 服 化妝品 砂糖 乾 貨 醬 油 物 油 種 類 々 々</p>	<p>會 商</p>	<p>慈 善</p>	<p>賣 藥 石 子 共 油 池 山 種 浦</p>

劍柔術教授
師範 山田信勝氏
登山 彰武館
大庭町


洋鐵 特別大安賣

此の外諸雜貨

本町三丁目

石川勝治商店

精養軒の牛乳
滋養豊富
磯村牧場



精養軒の牛乳ハ
精良無比

專賣局指定煙草輸入元
きりん印刷煙草露國發賣元

金町合 齊藤支店
電話一四四


歐米雜貨
卷煙草類
各種景品付
キリシ蕒
大賣出

第四國庫債券申込金

明治卅八年春月

第四回國庫債券
利子ノ割合
發行期限
申込期間
申込保証金

但し二月二十五日以前に


 たはこ
 小間物
 雜貨
 新
 革靴
 舊
 價
 廉
 販
 賣
 井筒屋
 南濱町三九

官烟兩切一切
製卷口烟草各種
並二字治錦茶
御小賣大勉強

草藥停車場內
事相繼可申候開辦用命付以上數白

草藥停車場內

釜山辨天町町安商店前
電話(二七一番)

唐津組

●漆器類シナカパン
其他新古日用家具
●小賣廉價販賣
●御不用品何でも買ます
●諸品競賣委託 應す
古物 兼賣商 幸町三丁目
油谷商會 電話二五七番

●有價證券賣買
●電話委託 應
●電至急受タシ
●御不用ノ方ハ御報
知願上候
●右確實を目とし取扱可申候間御用向御付神
下度候

●公なる 可二丁目
周旋業 津田光藏
電話二五七番

●取扱可申候
●第一銀行並山支店
●發行要領
壹ヶ年百分ノ六
七ヶ年以内
額面百圓ニ付
最低九十圓
參月二十九日
同發十ヶ年
モ申込ッ受
申込 百
四圓ノ割

●煙草問屋 便利仕入所
●内山商店
●電話二五六

朝鮮日報

大坂毎日新聞
朝報新聞
電報新聞
朝鮮日報新聞
右記各新聞均係本報代印

●東丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●安東丸
三月廿八日
仁川
三月廿九日
仁川
三月三十日
仁川

●宮崎丸
三月廿八日
仁川
三月廿九日
仁川
三月三十日
仁川

●日新丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●義州丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●大禮丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●東山丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●瑞龍丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●大阪商船株式會社
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●萬丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●馬丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●京畿丸
三月廿二日
仁川
三月廿三日
仁川
三月廿四日
仁川

●慶尚號
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●泰盛號
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●正成號
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●幸丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●神代丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●永田丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●錦龍丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●共同丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●釜山運輸組
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●防長丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●浦門丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●京畿丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●精白米廉價販賣
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●唐津石炭
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●板木廉價販賣
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●獸醫
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●東京そば
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●廉價販賣
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●砂糖乾物
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●活版印刷
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●酒樓正宗
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●勉強御下宿
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●新古表
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●電氣計各
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●萬小間物類
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●古着古道具
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●蜂印葡萄酒
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●花札かるた
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●香水香油
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●印醬油
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●附屬料理
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●滋養牛肉
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●純良牛乳
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●御料理
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●宇田商店
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●諸新聞大賣
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●大坂毎日新聞
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●朝報新聞
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●電報新聞
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●朝鮮日報新聞
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●右記各新聞
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●第一銀行
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●積立金
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●一積立金
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●全商會出張所
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●三浪津河津
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

●京畿丸
三月廿六日
仁川
三月廿七日
仁川
三月廿八日
仁川

伊豫大洲
金山港南濱町支店
小野茂

齒科專門
小野茂

銘葉
池商

精選煙草
池商

京城泥鰌
池商

草梁大
池商

東本總大
池商

京眼本總大
池商

鐵網並建築用
池商

亞鉛引平浪板
池商

韓人向諸金物
池商

角野商
池商

角野大郎支店
池商